7 導入及び推進 行政評価システム の

⑴行政評価システムの導入

による客観的な外部評価の 「行政改革推進委員会」

整理・検討 (政策・施策・事務事業) 外部評価を実施する対象 の

評価の公表 を実施した場合には、 ◆行政評価結果(外部評価) その

②政権公約評価の検討

公約評価実施に向けた取 (調査表など統一した基

くりの検討 政策に反映させる仕組みづ 公約の評価結果を予算や

8 財政運営の健全化

(1)事務事業の点検と見直し

策定

▼受益者負担の適正

◆滯納対策計画

仮 称

付金等の適正化 (ウ) 務事業の見直し (イ費用対効果に基づい (共通事務消耗品等の購入 町単独の各種補助金・交 た事

務事業評価、

③予算編成作

①総合計画実施計画、

比率

比率

行っている出資

推進 圧温室効果ガス削減対策の 理

の推進 対健康を支える環境づくり (オ福祉施策の充実化の推進

半企業誘致の積極的な推進

源 ②自主財源の確保と新たな財 の創設

と財源充当施策の検討 ◆ふるさと納税制度のPR バナー広告のPR推 進

入の検討 ◆コンビニ収納システム導

検証作業の実施 ◆各種使用料、 手数料金の

直し検討) 貸付け等に関する条例の見 町財産の交換、 ◆資産の有効活用(※安平 譲与、 無償

共団体の

◆町税等徴収事務計 の策定 画 仮

0 【健全化判断比率】 般会計等を対象とした実質赤字額の 標準財政規模に対する比率

②連結実質赤字比率: 当該地方公共団体

③実質公債費比率: 当該地方公共団体の 般会計等が負担する元利償還金及び 準元利償還金の標準財政規模に対する

の全会計を対象とした実質赤字額又は 資金の不足額の標準財政規模に対する

3予算編成システムの見直し ゴミの有料化の導入 ② 事 ①実質赤字比率: 当該地方公

による、 17 指した抜本的な見直しを行 算査定作業の時間短縮を目 テム」として整理すること 業を「一つの予算編成シス ます。 事務の効率化と予

4計画的な財政運営

に基づき、 0 また財政の早期健全化や再生 財政の健全化に関する法律等 るとともに、 期財政計画(5年間)」に基づ するため、これまで同様、「中 町政執行方針等に掲げてきた いた健全な財政運営を継続す 「計画的な財政運営」を堅持 必要性を判断するための4 安平町では、 財政状況を客観的 地方公共団体の 総合計画及び

> 度作成し、 政運営の健全化を図ります。 つの指標 (左枠参照) 様々な視点から財 を毎 年

⑤財政状況の公表

るなど、 と予算を示す「わかりやすい を図るとともに、一年の事業 町ホームページ等に公表する 全化判断比率と資料について を推進していきます。 予算書」を作成、 ことにより開かれた財政運営 た上で議会に報告、町広報紙 安平町の財政状況を示す健 町監査委員の審査に付し 町民との情報共有化 全戸配布す

> 財務諸表の公表 (6新地方公会計制度に基づく

す。 況の情報公開を図っていきま 毎年度作成、公表し、 連結ベースの財務書類4表を 特別会計や関係団体も含めた 複式簿記の考え方を取り入れ、 民間企業のように発生主義・ 新地方公会計制度に基づき 財政状

1 計 画の推進体制

行政改革プランの進行管理

得て行政改革を推進します。 員並びに町民の中に次の推進 体制を組織し、意見・助言を 本計画を推進するため、 職

2

当該地方公共団体の一般会計等 が将来負担すべき実質的な負債の標準 財政規模(注1)に対する比率 ※注1標準財政規模から元利償還金等に係

④将来負担比率:地方公社や損出補償を

法人等に係るものも

る基準財政需要額算入額を控除した額

計画の進行管理

ともに、 革推進委員会へ報告を行うと 者等で構成されている行政改 て行うものとし、住民の有識 改革推進協議会が中心となっ により公表します。 ホームページに掲載すること 本計 画の進行管理は、 計画の進捗状況を町 行政